

実施内容：水中心検（コンクリートの損傷や堆積状況の把握）の検証

## 1. 検証項目（予定）

### a. 水中部の堤体コンクリート表面の状態把握

#### ① 下記の範囲の堤体上流側コンクリート表面の変状調査

- ・ 横方向：横継目 J5～J7 の範囲（幅 30m）
- ・ 深さ方向：水面から EL40 まで（水深約 35m）堰柱の上流側水中部の変状調査

指定した範囲内の堤体表面の画像を取得し、0.5mm 以上のクラックがあればその位置を特定し、全体のマップ上に示す。

#### ② 上記範囲内の横継目 J6（水面から EL40 まで）の開き具合の概査

指定した横継目に沿って縦に移動しながら画像を取得し、開き量が 0.5mm 以上の箇所を特定し、その位置をマップに示す。

#### ③ 上記範囲内の水平継目（J5 から J7 まで）の開き具合の概査

指定した水平継目に沿って横に移動しながら画像を取得し、開き量が 0.5mm 以上の箇所を特定し、その位置をマップに示す。

#### ④ 上記範囲内にあるコンジット予備ゲート No. 1 に取り付けた模擬板の撮影

様々な幅や長さのクラックおよび凹凸等の損傷を模擬した試料の画像を取得し、それより模擬板の寸法やクラック等の寸法を測定する。

### b. ゲート設備の状態把握

#### ① コンジット予備ゲート No. 1 の戸当り（ローラ踏み面）の変状調査

放流管呑口付近のコンジット予備ゲートの戸当りに沿って画像を取得する。

#### ② コンジット予備ゲート No. 1 戸当り取付ボルトのチェック

放流管呑口付近のコンジット予備ゲートの戸当りを取付けているボルトの緩みをチェックする。

#### ③ コンジット予備ゲート No. 1 の板厚測定

コンジット予備ゲートの上流側のフランジの板厚を測定する。

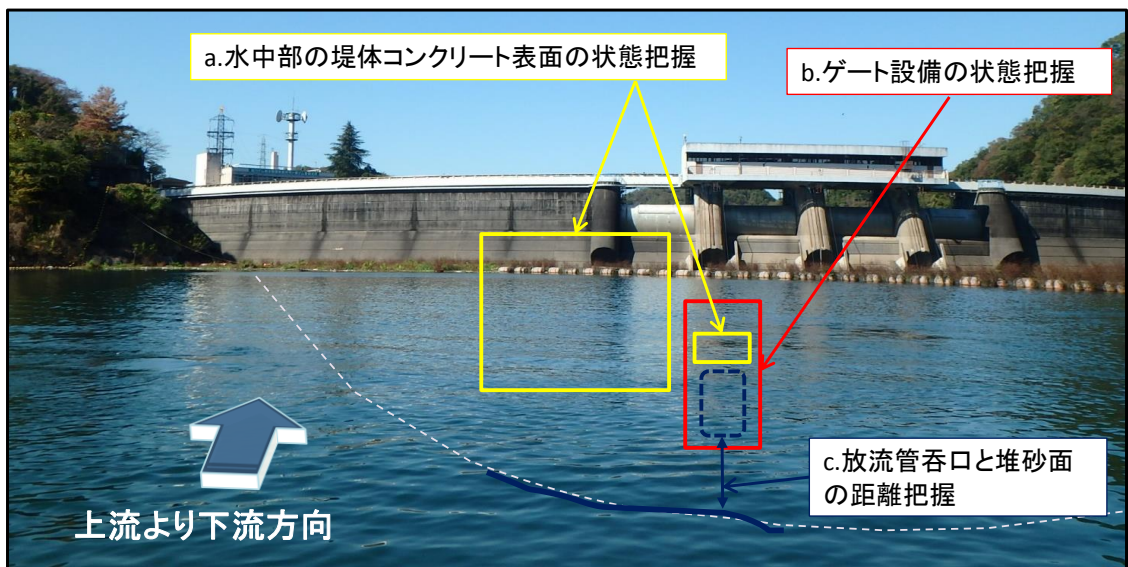
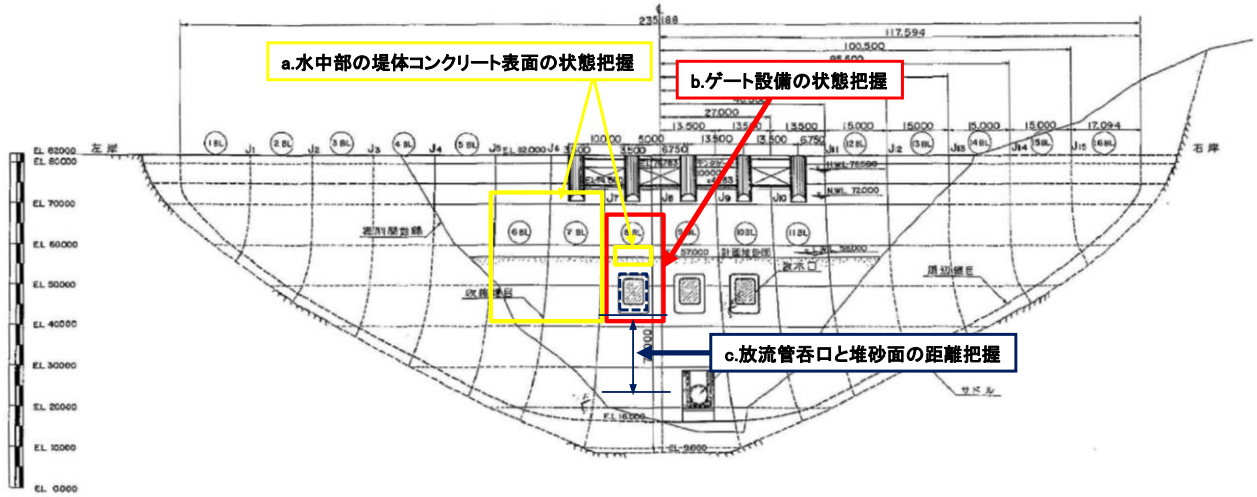
#### ④ 堤体上流面のコンクリート表面の清掃

ブラシ等で堤体上流面のコンクリート表面を清掃する。

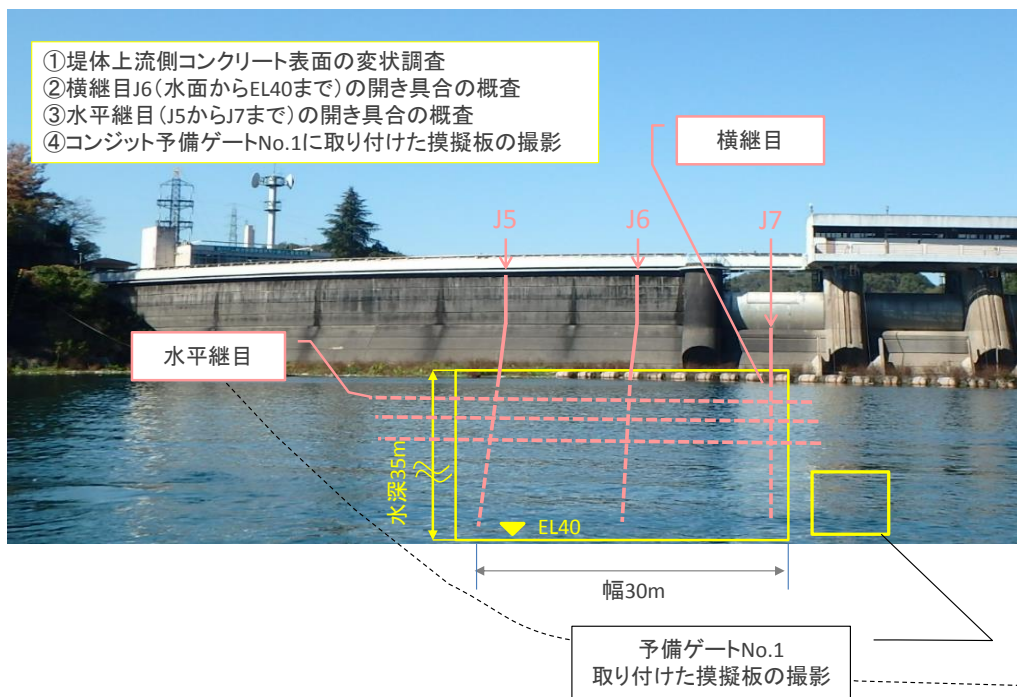
### c. 放流管呑口と堆砂面の距離把握

- ・ 放流管呑口下部の堆砂状況把握（堆砂面と呑口の標高差を求める）

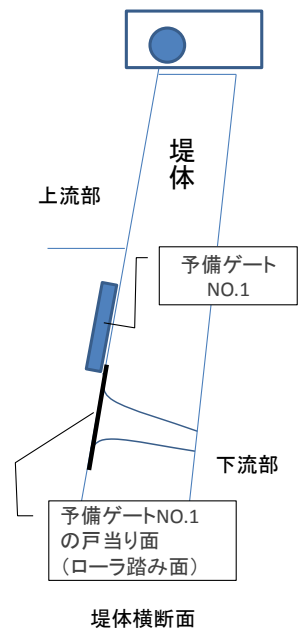
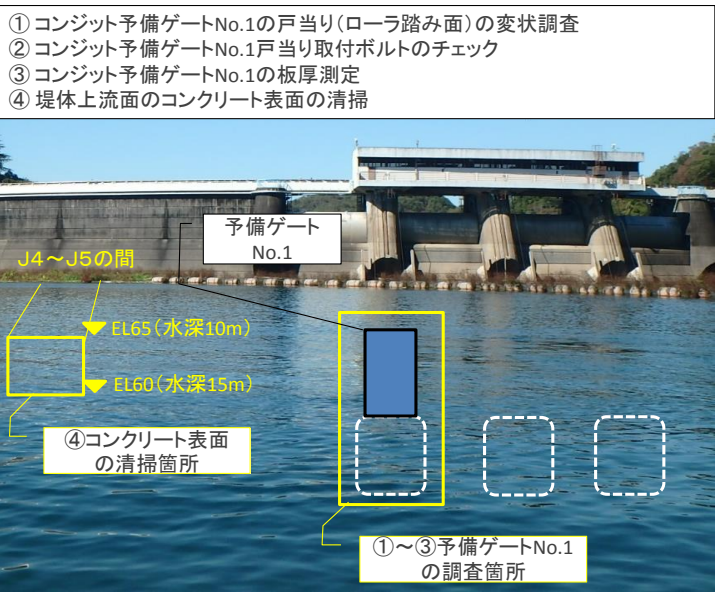
### 天ヶ瀬ダム検証項目



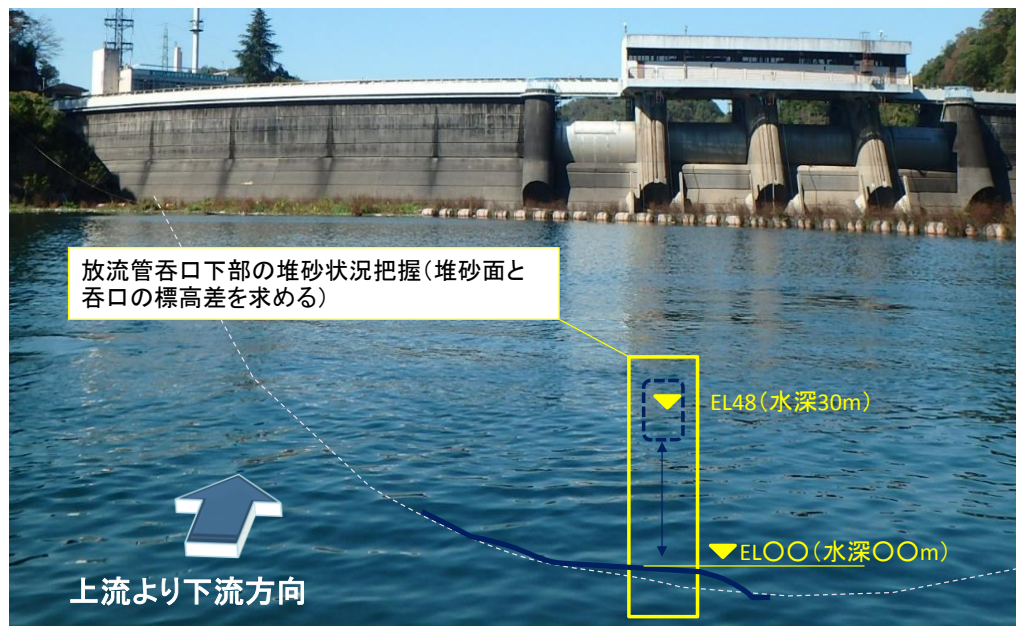
### 天ヶ瀬ダム検証項目



### a. 水中部の堤体コンクリート表面の状態把握



b. ゲート設備の状態把握



c. 放流管呑口と堆砂面の距離把握